

# 倫理ガイドライン

(最終更新日: 2024年1月1日)

当出版社 / ジャーナルは、発行するコンテンツにおいて最高レベルの完全性を維持することを固く約束します。これは、出版倫理委員会 (Committee on Publication Ethics, COPE) が定めた「コアプラクティス」を遵守することで達成されます。私たちは、すべての編集者、査読者、著者が、学術出版におけるベストプラクティスを代表する COPE の倫理的行動に関するガイドラインを遵守することを期待します。このガイドラインは、学術出版におけるベストプラクティスを示すものです。これらのガイドラインを真摯に受け止め、あらゆる面で遵守してください。

## 出版者および編集者

学術ジャーナルの発行者および編集者として、私たちはすべての業務において最高の倫理基準を守ることを信条としています。私たちは、著者、査読者、読者のプライバシーと秘密保持はもちろんのこと、掲載する研究の完全性を維持することに全力を尽くします。このコミットメントを果たすため、私たちは以下の倫理的声明を遵守することを誓います:

- 編集の独立性: 編集の独立性を維持し、外部からのいかなる影響も、掲載する研究の質、客観性、正確性を損なうことを許さない。
- 査読: 査読: 当誌が発表する研究はすべて、関連分野の有資格専門家による厳密な査読を受けることを保証する。査読者の秘密保持に努め、要請があれば匿名を保護する。
- 著者資格 当社は、国際的なガイドラインで定義されている著者資格の基準を満たすことを、投稿された研究の全著者に求めています。また、すべての著者に対し、研究に影響を及ぼす可能性のある利益相反を開示することを求めます。
- 剽窃と不正行為 私たちは、あらゆる形態の剽窃および不正行為の防止に努めています。当財団は、提出されたすべての研究が独創的であり、他で発表されたもの、または審査中のものでないことを求めます。また、著者が研究の資金源をすべて明らかにすることも求めています。
- 透明性: 私たちは、実践と方針において透明性を保つことを約束します。査読、編集上の決定、出版手続きに関する方針は、著者、査読者、読者が容易に入手できるようにしています。
- 多様性と包括性: 当社は、出版業務のあらゆる側面において、多様性と包括性の推進に取り組んでいます。あらゆる背景を持つ研究者からの投稿を歓迎し、偏見や差別のない編集・査読プロセスの確保に努める。
- 訂正と撤回 私たちは、研究において誤りや間違いが起こりうることを認め、迅速かつ透明性をもって訂正することを約束します。出版後に誤りや間違いが発見された場合、適切な訂正や撤回を行います。
- 私たちは、これらの倫理的声明を守ることが、著者、査読者、読者の信頼を維持するために不可欠であると考えています。私たちは、すべての出版活動

において最高の倫理基準を満たすことを確実にするため、方針と慣行を継続的に見直し、更新していきます。

## 査読者

査読者は、学術研究の質と完全性を維持する上で重要な役割を果たす。査読者は、その業務において最高の倫理基準を維持することの重要性を認識し、以下の倫理規定を遵守することを誓約する

- 守秘義務： 査読者は、査読プロセスおよび扱う原稿の秘密を尊重する。査読者は、原稿や査読プロセスに関するいかなる情報も、関係者の許可がある場合または法律で義務付けられている場合を除き、開示しない。
- 客観性と公平性： 査読者は、著者の人種、性別、国籍、所属機関などの要素を考慮することなく、学術的な長所のみに基づいて原稿を評価するよう努める。査読者は、査読に影響を及ぼす可能性のある利害の対立がある場合には、その旨を開示し、必要に応じて原稿の取り扱いを辞退するものとする。
- 適時性 適時性： 査読者は、適時査読の重要性を認識し、合意された期限内に査読を完了するよう努めなければならない。期限に間に合わない場合、査読者は速やかに編集者にその旨を連絡し、完了予定時期を提示する。
- 建設的なフィードバック 査読者は、原稿の質の向上に役立つ建設的なフィードバックを著者に提供するものとする。査読者は、個人攻撃や軽蔑的なコメントを控える。
- 独創性と剽窃： 査読者は、取り扱う原稿が独創的であり、他で発表されたものや査読中のものでないことを確認する。査読者は、剽窃や不正が疑われる場合には、速やかに編集者に報告する。
- プロフェッショナリズム 査読者は、査読者としての業務のあらゆる面において、プロフェッショナルとして行動しなければならない。査読者は、著者とその作品に敬意をもって接し、建設的かつ客観的なフィードバックを提供する。

## 著者

著者は、研究のあらゆる面において最高の倫理基準を守ることに専念しなければならない。著者は、自らの研究が学術界および社会全体に大きな影響を与えることを認識する。従って、著者は以下の倫理規定を遵守することを誓約する

- 独創性と真正性： オリジナリティと真正性： 著者は、自らの研究がオリジナルかつ真正なものであることを保証し、研究に使用したすべての出典について謝辞を述べなければならない。著者は、剽窃やその他のいかなる形態の学問的不正行為も行わない。
- 正確性と完全性 著者は、研究の正確性と完全性の確保に努めなければならない。また、仮説や主張を支持するためにデータや結果を操作しない。
- 同意と倫理的配慮 ヒトや動物、その他のデリケートなテーマを扱う研究については、適切な倫理的承認とインフォームド・コンセントを得ること。著者は、研究が関連する指針や規則に従って実施されるようにしなければならない。

- 謝辞と帰属 著者は、研究に貢献したすべての個人および組織の貢献に対して謝意を表し、その帰属を明らかにする。著者は、他者の貢献について虚偽の説明をしたり、自分自身の業績でないことを主張したりしてはならない。
- 利益相反 著者は、研究に影響を及ぼす可能性のある利益相反を開示しなければならない。著者は、学問的誠実性や独立性を損なうような資金提供やその他の支援を受けない。
- 対応と協力： 著者は、研究に関連する情報や説明を求められた場合、迅速かつ協力的に対応する。著者は、自らの研究に誤りや間違いがあった場合には、迅速かつ透明性をもって認め、対処するものとする。
- 社会的責任： 著者は、自らの研究が社会に与える潜在的な影響を考慮し、自らの研究成果が明確かつ効果的に社会に伝達されるような措置を講じる。
- 敬意とプロ意識： 著者は、編集の同僚、査読者、編集者に対して、あらゆる面で敬意とプロフェッショナリズムをもって接するものとする。著者は建設的なフィードバックを提供し、敬意と建設性を兼ね備えた学術的な言説を行うものとする。
- 生物学および医学分野の著者については、以下の倫理的記述を含める：
- インフォームド・コンセント： インフォームド・コンセント： ヒト参加者からインフォームド・コンセントを取得し、研究の性質と目的、潜在的なリスクと利益を十分に理解させる。
- 動物福祉： 動物福祉： 著者は、動物実験が人道的かつ科学的目標を達成するために必要な最小限の苦痛で実施されることを保証しなければならない。動物福祉に関する指針や規制を遵守し、可能な限り動物研究に代わる方法を用いる。
- 多様性の尊重： 著者は、人種、民族、性別、性的指向、その他の個人的特徴に基づいて、個人や集団を差別するような研究を行わないようにしなければならない。